

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	クリーンアジア・イニシアティブ推進費	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	地球環境局	担当課室	環境協力室	室長 大村卓		
会計区分	一般会計	上位政策	地球環境の保全			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	<p>クリーンアジア・イニシアティブは、アジアにおいて環境と共生しつつ経済発展を図り、持続可能な社会を構築することを目指すものであり、①低炭素・低公害型社会の実現、②循環型社会の実現、③気候変動に適応し、自然と共生する社会の実現、④市場のグリーン化の促進、を具体的な政策目標として、我が国の優れた技術・組織・制度等をアジアに移転することを通じ、アジア諸国の経済発展がリープ・フロッグ(「前車の轍」を踏まず環境劣化を飛び越えて先進諸国のレベルに経済発展)することを目指すこととしており、環境省各局各部署で具体的な協力事業を実施している。本事業は全省的な取組を統合的に推進し、相互調整及び広報等を通じ国際社会との連携を確保し、省内の横断的な案件形成や今後取り組むべき案件などの調査を行い全体として本イニシアティブを推進するものである。</p>					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>①CAIに係る広報・普及活動を推進し、またCAI傘下の個別の取組を有機的に連携させて実施するため、CAI事務局を設置し、我が国の主唱するCAIの内外への浸透及びCAIの効果的・効率的な推進を行う。 ②大気汚染に関する国際枠組みの情報収集及び連携検討等を行う。 ③アジアにおける環境汚染対策と地球温暖化対策の両立事業の実施検討等を行う。 ④アジア地域におけるし尿処理システム等の改善に関する能力開発ワークショップの実施等を行う。 ⑤NGOと行政がそれぞれ担うべき役割の整理と、行政としてNGOをどう支援していくべきかについて、具体的な事例研究等を通して検討を行う。 ⑥ベトナム、ラオス、ミャンマー、中国における環境保全に資するCSR促進に関する基礎調査等を行う。 ⑦国際環境研修に係るテキストの作成等を行う。</p>					
実施状況	<p>① i)関係各国政府、国際機関、研究機関との連携強化、ii)環境協力に係る政府間政策プロセスへの支援、iii)東アジア地域における現在及び将来の環境協力事業の調査・研究、iv)CAIの更なる推進に向けた広報業務等を実施するとともに、v)「東アジア首脳会議環境大臣会合環境的に持続可能な都市ハイレベルセミナー」を平成22年3月にインドネシアジャカルタで東アジア各国及び国際機関等の参加を得て開催するなど、アジア地域における各種支援及び調査業務を行った。 ②平成22年3月に開催された「アジア・太平洋地域大気環境問題に関する合同フォーラム」の(主催者として)開催支援等を行った。 ③アジアにおける既存の環境汚染対策事業の収集等を行うとともに、環境汚染対策と地球温暖化対策の両方の効果を有する事業推進のための検討等を行った。 ④し尿処理等の能力開発ワークショップ実施プログラム、教材の作成とワークショップを実施した。 ⑤国際協力NGOに連携による環境配慮可能性に係る基礎調査を行うとともに、連携基盤の醸成に向けた研究会を開催した。 ⑥ベトナム、ラオス、ミャンマー、中国における環境保全に資するCSR促進に関する情報の収集整理及び日系企業の積極的なCSR活動促進のための方策検討等を行った。 ⑦国際環境研修に係る基礎的資料を収集するとともに国際環境研修に係るテキスト原案の作成等を行った。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	—	171	167	
	執行額	—	—	151		
	執行率	—	—	88.3%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	151		

自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<p>■各事業は、入札段階での仕様書において業務内容を限定列挙するとともに、クリーンアジア・イニシアティブの目的の下、事業の実現及び効果発揮の観点から随時、請負業者と連絡調整及び進捗状況の確認を行うなど、常に連絡を行うと共に、指導監督を行っている。</p> <p>■例えば、主要な支出先となっているクリーンアジア・イニシアティブ推進事務局業務については、①国際会議（セミナーやワークショップ）開催のための運営費用、②広報等、③迅速で簡便な短期調査業務などが主要業務であり、これらの内容は仕様書、また契約書に業務内容を限定列挙するとともに、日常的に連絡を取るなどにより、十分に実施内容を確認できる状況にある。</p>
	見直しの余地	<p>■「東アジア共同体」など、東アジア重視という政策の下、環境分野における東アジアへの協力関係は、更に協力を強化することが求められており、その方向での見直しは随時必要であると考えられる。</p> <p>■クリーンアジア・イニシアティブ推進業務の中には、ASEAN+3環境大臣会合やEAS環境大臣会合の運営業務など国際会議等の実施支援等が入っており、協力関係を縮小することは困難な状況にあるが、現状の水準を維持しつつ、より効果的・効率的な実施を工夫する。</p> <p>■23年度要求においては、「(小々事項)クリーンアジア・イニシアティブ推進費」を別シートの「(小事項)日中環境推進費」、「(小々事項)日中環境協力推進費」と統合し、「東アジア共同体構築に向けた環境協力推進費」として一体的な要求を行うことにより、①それぞれの枠組みにおいて得られる情報を相互にフィードバックする、②得られた情報に基づき新規協力案件の発掘を行う、③予算の重複を避ける、などの東アジア共同体構築に向け、各枠組みの連携した取組を強化するなど業務面及び予算面でのより効果的・効率的な実施に努める。</p>
予算監視の所見	効率化	
補記		

環境省
151百万円

クリーンアジア・イニシアティブ推進費
【目的】アジアにおいて環境と共生しつつ経済発展を図り、持続可能な社会を構築することを目指す。

【企画競争／請負】

A. (財)地球環境戦略
研究機関
89百万円

①クリーンアジア・イニシアティブ推進事務局運営等業務
【内容】環境協力に係る関係各国、国際機関との連携強化

【一般競争／請負】

B. (株)インターグループ
5百万円

②アジア地域における大気管理に関する国際協力支援業務
【内容】大気汚染に関する国際枠組みの情報収集及び連携検討、会合開催支援

【企画競争／請負】

C. (財)地球環境戦略
研究機関
30百万円

③アジアにおける環境汚染対策と地球温暖化対策の両立事業の展開に関する調査検討業務
【内容】技術マップの作成、検討

【一般競争／請負】

D. (財)日本環境衛生
センター
12百万円

④アジア地域におけるし尿処理システム等の改善に関する能力開発ワークショップ実施業務
【内容】ワークショッププログラム作成、実施業務

【総合評価／請負】

E. 特定非営利活動法人国際NGOセンター
3百万円

⑤CBD COP10に向けた国際協力NGO連携調査業務
【内容】国際協力NGOの連携による環境配慮可能性に係る基礎調査、研究会の開催

【総合評価／請負】

F. (財)地球環境・人間
フォーラム
5百万円

⑥民間海外事業及び我が国ODAにおける環境社会配慮強化調査業務
【内容】ベトナム、等におけるCSR促進に関する基礎調査、基礎資料の翻訳等

【企画競争／請負】

G. (社)日本環境教育
フォーラム
7百万円

⑦国際環境研修に係る教材の検討及び作成等業務
【内容】国際環境研修に係る教材の検討及び作成等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足
する)
(単位:百万円)

※その他パンフレット印刷費 1件0.2百万円

費目・使途
 「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.財団法人地球環境戦略研究機関			E.特定非営利活動法人国際NGOセンター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	クリーンアジア・イニシアティブ推進事務局運営等業務費	89	雑役務費	CBD COP10に向けた国際協力NGO連携調査業務費	3
計		89	計		3
B.株式会社インターグループ			F.財団法人地球環境・人間フォーラム		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	アジア地域における大気管理に関する国際協力支援業務費	5	雑役務費	民間海外事業及び我が国ODAにおける環境社会配慮強化調査業務費	5
計		5	計		5
C.財団法人地球環境戦略研究機関			G.社団法人日本環境教育フォーラム		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	アジアにおける環境汚染対策と地球温暖化対策の両立事業の展開に関する調査検討業務費	30	雑役務費	国際環境研修に係る教材の検討及び作成等業務費	7
計		30	計		7
D.財団法人日本環境衛生センター			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	アジア地域におけるし尿処理システム等の改善に関する能力開発ワークショップ実施業務費	12			
計		12	計		0